



ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、 制作者と語り合う会 Vol.24

放送批評懇談会ラジオ選奨委員会では、ギャラクシー賞入賞作品を聴いて制作者にお話を伺い、語り合う会を、引き続き開催します。今回は、第54回優秀賞2作品の制作者をお招きし、番組を試聴する予定です。参加をご希望の方はFAX、メールいずれかにてお申し込みください(詳しくは裏面をご参照ください)。ラジオ関係者に限らず、多方面からのご参加をお待ちしております。

優秀賞

ミュージックドキュメント
井上陽水×ロバート キャンベル
「言の葉の海に漕ぎ出して」

エフエム東京(2016年11月23日放送)

ゲスト:エフエム東京 プロデューサー
延江 浩さん



日本文学研究者のロバート キャンベルが、井上陽水に歌詞の中の独特な言葉使いについて質問し、その本質を探り出そうとします。歌詞を理詰めで追うキャンベルの作業に違和感を持ちつつ、陽水が徐々にその姿勢に引き込まれていくさまは、非常に聴きごたえがあります。

優秀賞

広島原爆の日 ラジオ特集
「あの日、母は少女だった～被爆の記憶をたどる母と息子の対話～」

日本放送協会(2016年8月6日放送)

ゲスト:日本放送協会 アナウンサー
中山果奈さん



広島で被爆した母と、その体験を聞き取る息子の対話を、肉声と朗読で立体的に織り上げた作品。ドキュメンタリーとラジオドラマが見事に融合しています。朗読者に樹木希林と本木雅弘という、義理の母と息子を起用した点もユニークで、2人の表現力の高さも際立っています。

日時:2017年9月17日(日)午後1時～5時 ※開場は午後0時30分

会場:TOKYO FM 11階 ジェットストリーム大会議室(東京都千代田区麴町1-7)

主催:問い合わせ:NPO法人 放送批評懇談会 ラジオ選奨委員会

TEL 03-5379-5521 FAX 03-5379-5510

協力:TOKYO FM



ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、制作者と語り合う会 Vol.24

ミュージックドキュメント 井上陽水×ロバート キャンベル「言の葉の海に漕ぎ出して」
広島原爆の日 ラジオ特集「あの日、母は少女だった～被爆の記憶をたどる母と息子の対話～」

- ◆ 日時:2017年9月17日(日)午後1時～5時 ※開場は午後0時30分
- ◆ 会場:TOKYO FM 11階 ジェットストリーム大会議室(東京都千代田区麹町1-7)
- ◆ 主催・問い合わせ:NPO法人 放送批評懇談会 ラジオ選奨委員会
〔TEL 03-5379-5521〕
- ◆ 協力:TOKYO FM
- ◆ 参加費:お一人1,500円(学生の方は1,000円)
※当日、受付にて精算となります。また終了後、各自負担で懇親会を予定しております。詳細は、当日お知らせいたします。
- ◆ 申し込み締め切り日:9月12日(火)
※ただし、定員になり次第締め切らせていただきます。



参加ご希望の方は、下記のいずれかの方法でお申し込みください。

●メールで

件名に「聴く会参加希望」、本文に「お名前」「所属」「連絡先」「懇親会のご出席の有無」をご記入のうえ、下記メールアドレスまでお送りください。複数でご参加の方も同時にお申し込みいただけます。

放送批評懇談会事務局 info@houkon.jp

●FAXで

この用紙の下部にある申し込み欄に必要事項をご記入のうえ、下記番号までお送りください。複数でご参加の方は、お手数ですが本用紙をコピーしてお申し込みください。

放送批評懇談会事務局 **FAX:03-5379-5510**

フリガナ お名前	
所属	
連絡先 TEL E-MAIL	
懇親会 (どちらかに○)	出席・欠席



- 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番・2番出口から徒歩約3分
- 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩約6分